

南紀 京大白浜水族館は行幸記念



左に見えるのは
円月島



南紀・白浜は白浜温泉で有名だが、「京都大学白浜水族館(通称)」や「南紀行幸記念館」があることも知られている。水族館は、生物学者でもあった昭和天皇が昭和四年に京大の臨海研究所を「訪問(行幸)」になり、その記念として実験水槽に観覧設備を施して翌年から一般公開されたのが始まりである。ゆかりの水族館と研究所(後に実験所と改称)の現状を取材してみた。

無脊椎動物

飼育種では日本一



昭和天皇、2回目のご訪問は香淳皇后とご一緒に(昭和37年5月 京都大学提供)

種、ハナミノカサゴやヤイトハタなどの脊椎動物(魚類)約二百七十種を飼育している。無脊椎動物に関しては日本一の水族館。

動物が住む海底を模した大型水槽や動物ごとによく観察できる汽車窓水槽は子どもが見てもきれいで楽しい。標本も解説付きで展示されていて体系的な知識も得られる。このほか、将来に向けての実験もおこなわれていて、見学できる。

その一つは、白山教授が中心になって行っている「海洋動物への二酸化炭素(炭酸ガス)の影響を調べる実験」である。変化やウニに与える影響を調べている。

ムラサキウニを二つの水槽に入れて、二酸化炭素濃度約360ppmの二(西暦二〇〇〇)年の標本もある。



⑤ジュウジキサンゴとチョウチョウウオ⑥ムラサキハナギンチャク



つまり、年々増え続ける大気中の二酸化炭素の生物への影響を早めに調べ、対策も考えようとする意欲的な実験である。

しかし、この伝統的にかつ先端的である水族館にはイルカショーなどのアトラクションはなく、地味な存在である。

京都大学が国立大学から法人化されたいま、水族館を維持していくためには、多くの見学者を集め、十分な社会貢献をしていることを数字で示す必要がある。

英知を結集し、一般市民との学術交流をせよと永続させてほしいものである。

水族館情報

- ◆入館料 高校生以上五百円 小中学生百円
- ◆開館時間 午前九時～午後五時半 入館は午後五時まで
- ◆年中無休
- ◆駐車場 約三十台分
- ◆アクセス ①JR白浜駅から明光 0739・42・3515

バス(町内循環アルト)で「臨海」下車すぐ。乗車時間十七分。大人三百三十円

②南紀白浜空港から明光バス(町内循環Bルート)で「臨海」下車すぐ。乗車時間二十五分。大人四百円

電話